

公益社団法人京都染織文化協会

平成28年度事業計画

<基本方針>

古くは平安時代から発展してきた日本の染織文化とその技術は、ライフスタイルの変化に伴う伝統文化の継承困難によりその存続が危ぶまれている。当協会では、染織に関わる所蔵資料やネットワークを通じて、あらゆる方法により一般社会に広く啓発することで染織文化・染織技術への理解と関心を深め、次代に継承していく。

1. 公益事業

「染織文化資源の保全と啓発事業」

■「染織祭」の詳細調査並びに公開（継続事業）

昭和6～26年に染織業の発展を祈念し盛大に執り行われた「染織祭」について北野裕子氏（龍谷大学社会科学研究所客員研究員）に依頼して詳しく調査を行い、その成果を展覧会並びに当協会ウェブサイト並びにインターネット上で展開するフリー百科事典『Wikipedia』で情報公開するとともに、服飾文化学会への研究発表などを通じて染織祭並びに染織大国・京都の認知を上げる。

<今年度調査>

史料からみる調査

- ・染織祭史料・関連物品の制作経緯調査
- ・京都市の歴史からみた染織祭
- ・染織祭関係史料の解説作業

収蔵品からみる調査

- ・染織祭記録映像（昭和8年撮影／モノクロ・無音）のカラー化による祭りの検証
- ・衣装の道具類に関する調査

■染織祭関係史料のデジタル保存と保全（継続事業）

染織祭の記録や軌跡を保全するために、当協会が保管する染織祭関係史料をデータ化して保存するとともに、劣化を防ぐ目的で中性紙箱を用いて保管する。

<今年度調査>

- ・会計関係（昭和6年～26年／染織講社）
- ・議会録綴（昭和26年～28年／染織祭衣装寄贈関係）

■染織技術アーカイブ作成に伴う資料調査（継続事業）

当協会では所蔵している染織祭衣装並びに全国染織産地合同制作布地で使われた染織技術の記録と解説を行い、その内容を当協会ウェブサイト上で染織技術アーカイブとして纏め、順次公開する。

<今年度対象資料>

- ・「染織祭衣装」—奈良時代 19 領（北川満哉氏（学芸員）による調査、解説）
- ・「全国染織産地合同制作布地」—7 点（福井健二氏（染織専門家）による調査、解説）

■染織祭衣装の補修・修繕

（補修・修繕）

当協会が設定している傷みの「5段階評価」に基づき、評価 4（複数個所に著しい傷み、汚れがあるが修理可能な状態）の衣装を中心に、依頼先と協議の上、着手する。

<対象衣装>

平安時代衣装「裃（あこめ）」

鎌倉時代衣装「桂（うちぎ）」

<依頼先>

松下装束店（京都市中京区）

高田装束店（京都市上京区）

■染織祭衣装に関する展覧会協力

美術館等が企画する染織祭衣装に関する展覧会に協力を行う。

■染織資料貸付並びに画像貸付協力

美術館、出版社等の要請に応じて衣装現物や画像の貸付協力を行う。

<染織祭衣装貸付>

- ・公益性のある美術館、博物館を対象に貸付。
- ・染織祭衣装については返却後メンテナンス作業が伴うため、貸付期間に関係なく、1 領につき 1 万円のメンテナンス料を徴収する。

<染織祭衣装画像貸付>

- ・染織文化・染織技術を啓発する当協会の目的に合った内容の出版物や番組等を対象に無償で貸付ける。

「染織技術等継承事業」

■染織技術啓発のための小冊子の配布（幼児～中学生）

きものとそれに伴う技術を簡単に解説した小冊子を十三まいり、七五三詣りの場にて参詣者に配布する。

■染織技術等に関するセミナー（大学生・専門学生～一般）

染織文化・染織技術に関するセミナーを開催する。

- ・「第 1 回染織文化セミナー」（10 月頃予定）
- ・「第 2 回染織文化セミナー」（平成 29 年 3 月頃予定）

■インターネット上での公開講座（一般）

不特定多数の一般の人々に知識を広めていくため、当協会ウェブサイト上でミニ講座の動画配信を行う。

（ミニ講座）「染織技術」シリーズ

(方 法) 染織技術に関する 8 ミリビデオシリーズをデータ化し、動画をインターネット動画共有サービス『YouTube』にアップロードして当協会ウェブサイトへリンクを貼り閲覧を促す。

「染織技術等継承に関わる助成事業」

染織技術を継承し一般社会に啓発していくことを目的とし、活発に取り組むを行う団体の、営利目的ではない事業で次に該当する事業に助成を行う。

- ①染織技術の研鑽・向上のための事業
- ②染織技術に関する展示公開等による一般社会への啓発事業
- ③その他染織技術の創造に寄与するために必要な事業

2. 会員事業

「知識啓発事業」

■セミナーの開催

染織全般に関する知識向上を目的とし、染織の歴史、文化やマーケティング、ビジネス戦略、次代の染織文化に関する事など、会員の要望に応じて幅広い分野で開催する。(年 1 回予定)

■芸術・文化啓発事業

当協会会員の知識普及を目的に、京都市内で行われる主要な展覧会の入場券を年 2 回会員に送付し観覧を促す。

「染織業界発展事業」

■京都ブレス事業 (継続事業)

伝統的な染織技術と先端技術を融合させた新しい素材の開発を行い各社にその情報をフィードバックする目的でグラスファイバー、特殊撚糸シルク、ポリエステル融着糸生地を制作し、昨年度「第 81 回東京インターナショナルギフトショー春 2016」にこれら生地を出展して市場の反応を得た。それを踏まえて今年度は次の通り取り組む。

◎京都ブレス開発生地展示会

京都ブレス事業で今まで開発した生地を一堂に見てもらおう展示会を開催する。(於：京都市内ギャラリー)

◎「第 81 回東京インターナショナルギフトショー春 2016」出展フォロー

上記展覧会出展時に来場者よりあった引き合いや要望に対するフォローを行う。

■会員のための助成事業

歴史ある染織技術を継承し、発展することを目的として当協会会員の次に該当する事業に対し助成を行う。

- ①染織技術を使った商品を開発するための事業
- ②染織技術を使って開発された商品を発表するための事業
- ③染織技術を使って開発された商品の販路を拡大するための事業
- ④染織文化・染織技術を啓発するための事業
- ⑤その他染織技術の創造に寄与するために必要な事業